

安岐中学校が全国新聞コンクールで 内閣総理大臣賞を受賞

安岐中学校の新聞部が発行している学校新聞「きょう暁雲」が、第56回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、中学・学校新聞の部最優秀賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

同コンクールは、学校・学級新聞コンクールの中で、もっとも権威のある大会の一つ。同部門には全国から1,124作品の応募があり、前回の同コンクールで第2位となる文部科学大臣奨励賞の受賞に続き、今回見事全国第1位に輝きました。

受賞の知らせを受けて、前期部長の清原夏実さん（3年）・後期部長の橋本由李さん（3年）は、「昨年、全国2位だったので今年は1位を取りたかった。誰でも読みやすい、地域の皆さんに楽しんでもらえる新聞づくりをめざしました。受賞の知らせを聞いたときはうれしくて泣きそうになりました。」と話してくれました。

新聞部では、上原加代子、林俊昭両教諭の指導のもと、「一筆入魂～安岐中生の生活を知り、考え、行動にうつせる原動力となる新聞を作ろう～」を活動目標に掲げて、35名の部員がそれぞれ取材、原稿書き、レイアウトを担当。学校行事などのお知らせ記事だけでなく、地域からの意見などを積極的に取

り入れた紙面づくりをしています。

副部長の花木智史（2年）さんは、「他の入賞校のいいところを取り入れ、新聞部員だけでなく、全校生徒がかかわれるような新聞にしていきたい。」と次期部長としての抱負を語ってくれました。

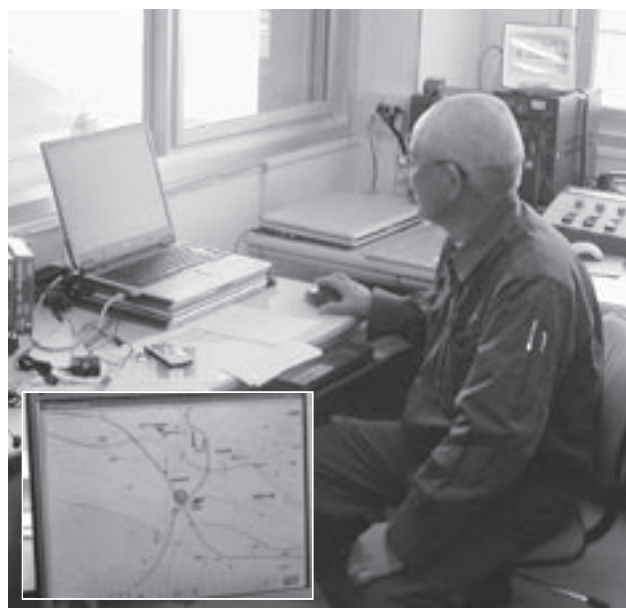


▲33年前の安岐中学校誕生とともに創刊された「暁雲」。昨年3月から安岐町内全戸に回覧されています



▲やった！全国1位だ！受賞を喜ぶ新聞部の皆さん

携帯電話・IP電話等からの緊急通報位置表示システム実証実験



▲通報者の発信位置がパソコンに表示されます

市消防本部では、携帯電話・IP電話等からの119番へ通報した時、どこから電話しているかなどの位置情報等が得られる「緊急通報位置表示システム」を、4月1日から稼働させる準備を進めていますが、2月26日(月)・27日(火)の2日間、システムの実証実験を行いました。この実験は、総務省消防庁の指導のもとに全国5カ所で行われましたが、九州では国東市消防本部が選ばれました。

実証実験では、実際に携帯電話から通報を行い、位置情報等が正確に表示できるか等を確認しました。

4月1日からの本稼働により、これまで口頭で確認していた災害現場が、消防本部のパソコンの地図上でわかることから、出動がスムーズになり、住民サービスの向上につながると期待されています。